

うるしの里づくり推進事業(岩手県二戸市)

概要

○国産漆の約8割を産出する国内最大の産地であるが、生産者の高齢化や後継者不足が顕著であり、産業として低迷している状況である。このようなことから、地域固有の資源である「うるし」を活用して地域の振興を図るものである。

【二戸市】

○岩手県北部に位置する市
○国産漆の約8割を産出する旧浄法寺町地域を中心に実施

事業の内容

事業内容

- ウルシの適正な肥培管理に向けた所有者に対する指導啓発
- 漆掻き就労希望者に対する漆塗り等関連技術の習得研修
- 高性能塗料である漆の建築資材としてのモデルルーム設置
- 「浄法寺塗」の新規販路開拓に向けた料亭等でのモニタリング
- 「浄法寺漆」「浄法寺塗」の認知度向上等に向けた「漆サミット」への協力
- 漆に対する市民の意識を高めるための「めっせうるしさま2010」の開催

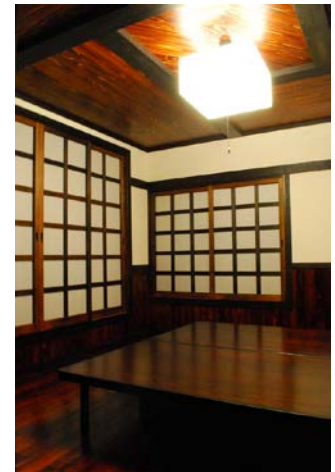


ポイント

「優良なウルシ原木の確保」、「後継者の就業支援」、「浄法寺漆・浄法寺塗の認知度向上と販路開拓」、「地域住民の認知度向上」の4点が課題となっていることから、これらの課題解消に向けた取り組みを実施した。

【写真の説明】

上:めっせうるしさま協力店舗でのディスプレイ風景
右:床や腰板に漆塗りを施工したモデルルーム
右下:地元高校生も参加した植樹祭



事業の成果

- ウルシ原木所有者の適正管理に対する意識向上が図られた。
- 建築資材に漆を活用する利点を発信する拠点ができた。
- 浄法寺塗の品質に対する評価・課題が明らかになり今後の販路拡大につなげることができた。
- 各研究機関や漆に関係する人たちとのネットワークが確立された。
- 特色ある地域資源である「漆」に対する地域住民等の認知と意識向上が図られた。

